

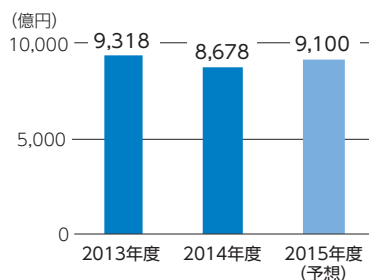
特集 未来をつくる 研究開発

グループ連携・
オープンイノベーションにより
新たな価値を創造

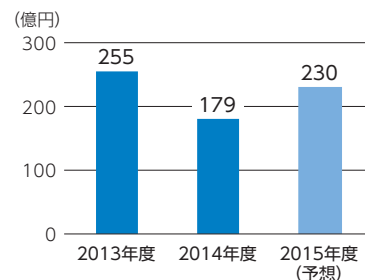


2014年度/2015年度(予想)業績ハイライト

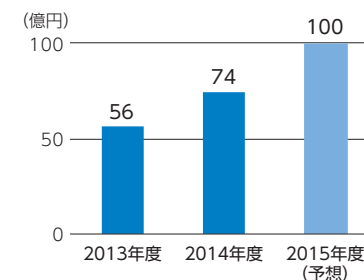
■連結売上高



■連結営業利益



■連結当期純利益



■配当金

2014年度 (1株あたり)	
中間	0円
期末	3.0円
2015年度予想 (1株あたり)	
中間	0円
期末	4.0円

※2013年度業績には、旧古河スカイ(株)(現(株)UACJ)の売上高904億円、営業利益51億円が含まれています。

株主の皆様へ

世紀を超えて培ってきた素材力を核として、
次世代新事業の育成を図っていきます



株主の皆様には、平素より格別のご支援ならびにご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、去る2014年度は、半導体やデータセンター用サーバで使われる素材などが好調に推移したほか、欧米の光ファイバ・ケーブルや中国の高圧電力ケーブルの受注が回復しました。一方、2013年10月より

旧古河スカイ(株)が旧住友軽金属工業(株)と合併し、(株)UACJとして持分法適用会社化したことや、銅条製品の雪害に伴う影響などにより、前期比で減収となりましたが、当期純利益は増益となりました。

2015年度につきましては、インフラ/自動車分野の海外市場が好調に推移すると見込まれることや銅条製品の一貫生産

再開が寄与することにより、増収増益を予想しています。

昨年11月には、顧客満足度の高い製品開発の加速と新規事業創出を図ることを目的として、これまでの製品別から、基礎研究・要素技術開発・製品開発というステージ別の研究へと、研究開発体制を再編しました。

これからも、世紀を超えて培ってきた素材力を核として絶え間ない技術革新により、持続的で高収益な次世代新事業の育成を図ってまいりますので、皆様には引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年6月

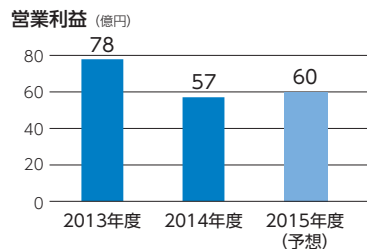
古河電気工業株式会社
代表取締役社長

柴田光義

2015年度の主な施策と営業利益

2015年度に取り組む主な施策と営業利益の予想についてセグメントごとに説明します。

情報通信



光ファイバ・ケーブル

日本: 光ファイバの生産性向上による製造能力アップ

東南アジア: FTTx^{*1)} ソリューション
ビジネスを展開

EMEA^{*2)}: ロシアの製造能力を拡張
アフリカ進出を準備



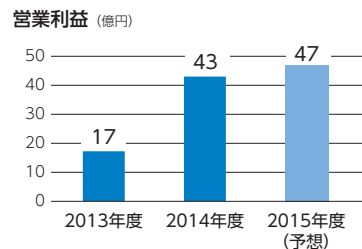
光ファイバケーブル

フォトニクス

次世代高速通信 (デジタルコヒーレントシステム) 関連製品が成長
新型光ファイバ融着機を投入

*1) FTTx: ユーザ宅向け光ファイバ網 *2) EMEA: 欧州、中東、アフリカ地区

エネルギー・産業機材



電力ケーブル

日本: 電力部品、機器用電線の需要が増加

インドネシア: 銅・アルミ線需要が拡大

中国: OPGW^{*} のアウト・アウト戦略を加速



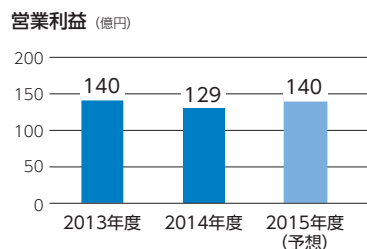
OPGW

機能樹脂

軽量ケーブルトラフを拡販

* OPGW (光ファイバ複合架空地線):
架空高圧送電線を落雷から保護するために設置されて
いる架空地線 (避雷用アース線) の内部に光ファイバ
を実装した製品です。

電装・エレクトロニクス



自動車部品

日本: 自動車用鉛蓄電池の新工場が稼働開始

海外: ワイヤハーネスのグローバル供給体制を確立
SRC^{*} などの部品事業を拡大

電子部品

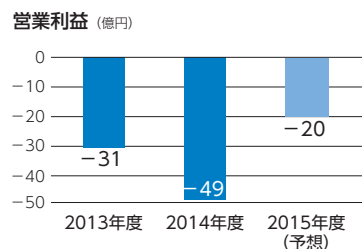
データセンター向けメモリーディ
スク用アルミ材の好調継続



SRC

* SRC (ステアリング・ロール・コネクタ):
エアバッグの起動やホーン、エアコン、ラ
ジオのスイッチなど、自動車のステアリ
ング内で電気信号を伝達するコネクタです。

金属



銅箔

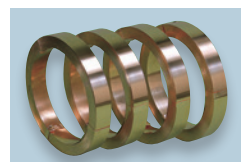
日本: 今市東工場をマザー工場化し、高付加価値品へ特化

台湾: リチウムイオン電池用箔の量産拡大

銅条

日本: 本年1月より一貫生産体制
を再開

中国: 合併パートナーとOEM契
約を締結し、中国国内向
け売上を拡大



銅合金条

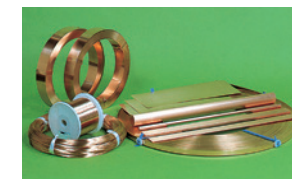
TOPICS

銅条製品の日光事業所での一貫生産を再開

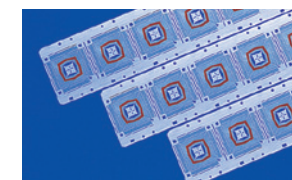
日光事業所 (栃木県日光市) における銅条製品の
一貫生産を当初の予定通り、本年1月5日より
再開しました。

昨年2月、栃木県日光市において発生した記録的な大雪
により、当社日光事業所の一部工場建屋の屋根が崩落
するなどの被害があり、銅条製品の操業の一部停止を
余儀なくされました。

関係各方面のご支援、ご尽力のおかげをもちまして、
大きな被害にもかかわらず、10ヶ月半という短期間で
一貫生産を再開することができました。



銅条製品



電子機器用リードフレーム

株主の皆様やお客様には
ご心配とご迷惑をおかけ
しましたが、今後は安定
操業を継続するとともに
「パートナーとしての責
任を果たせるメーカー」
を目指して参ります。



新銅条工場

未来をつくる 研究開発

「お客様のニーズに応じていくため、
グループ連携・オープンイノベーションにより
新たな価値を創造してまいります。」

次世代新事業の育成

研 究開発本部では長期ビジョンとして、「素材力で
培われた技術を基盤として、人々が暮らしやすい
社会の実現に貢献する」をテーマに、「通信インフラの
大容量化」「電力インフラのスマート化」「自動車のグリーン化」
を重点分野として高収益事業の育成を図っています。

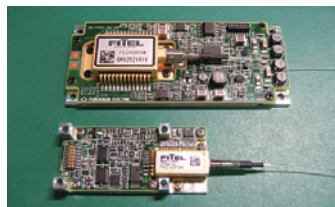
このような新材料、新技術を開発していくには、当社
グループ全体の力を従来以上に融合することが必要に
なってきます。研究開発部門では、各部門、各関係会社
に分散している技術を集約・融合させて開発力を強化し
ていくとともに、米国とEUの研究所を拠点に研究開発
の国際化を進めるべく、研究開発体制の見直しを行いま
した。さらに、このようなグループ内の連携に加え、大
学、公的研究機関、他社との協業によるオープンイ
ノベーションを積極的に活用してまいります。

通信インフラの大容量化



最先端のフォトニクス技術で、 大容量光通信を実現

世界のデータ通信量は年率40%の割合で増
加していくと予測されており、今後も通信
ネットワークの大容量化が必要とされていま
す。当社グループは、最先端のフォトニクス
技術を駆使した高機能部品を開発し、通信イ
ンフラの大容量化に貢献しています。



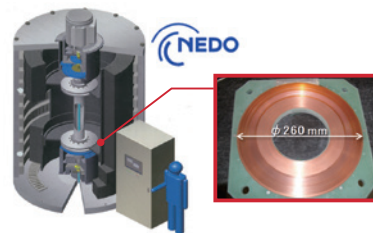
ITLA / 集積型信号光源
(上段：従来版、下段：小型版)

電力インフラのスマート化



長年培ってきたノウハウを活かし、 スマートグリッド社会の実現に貢献

当社グループは、長年にわたり電力の伝送に
関わるインフラストラクチャー（生活基盤）
の構築に携わってきました。その電力イン
フラ事業で培った技術力を活かし、エネルギ
ーを効率的に活用するスマートグリッド社会
の実現に貢献します。



次世代フライホイール蓄電システム用
超電導マグネット

自動車のグリーン化



独自の素材力を活かし、 自動車のグリーン化を加速

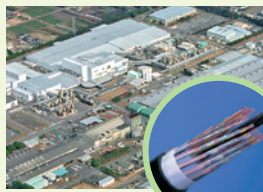
輸送機器分野におけるエネルギー問題やCO₂
排出量の増大などの解決に向けて、当社グ
ループは、独自の素材力を駆使し、自動車部
品の軽量化やエネルギー効率の改善など、自
動車のグリーン化を進めています。



UltraBattery

バッテリー検知センサシステム

工場見学会・カレンダープレゼントのご案内



三重事業所

光ファイバケーブル



横浜事業所

パッケージ型蓄電池システム

例年ご好評いただいております株主様限定の工場見学会を、今年度は三重と横浜の両事業所で開催いたします。三重では光通信などの工場を、横浜では当社グループの研究開発の取り組みを、抽選で計150名(各回50名)の方にご覧いただく予定です。

また、当社オリジナルカレンダー(2016年版)も抽選で500名の方にプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

※工場見学会・カレンダーどちらか一方のみのご応募も可能です。

ご応募方法



当社HPの「工場見学会・カレンダーご応募」のページより、ご応募ください。その際、下の「ご応募クイズ」にもお答えください。



※ハガキでのご応募も可能です。

郵便ハガキに下記事項をご記入の上、ご応募ください。

- ・ご応募クイズの答え・氏名・年齢・ご住所・お電話番号
- ・ご応募内容
(ご希望の工場見学会の日程・カレンダー・両方)
- ・見学会ご同伴者(小学生以上1名様可)の氏名/年齢

【宛先】〒100-8322

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
古河電気工業(株)

「工場見学会・カレンダープレゼント」係

※通信費・郵送料などご応募に関する費用は、応募者様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

※その他、工場見学会・カレンダープレゼントに関するお問い合わせは、当社HP「工場見学会・カレンダーご応募」ページよりお問い合わせください。

会場/開催日

三重事業所(三重県亀山市)

2015年10月2日(金)

横浜事業所(神奈川県横浜市)

2015年10月7日(水)・8日(木)

※集合場所までの交通費は、自己負担となります。
あらかじめご了承ください。

ご応募期限

2015年7月31日(金) ※ハガキの場合は消印有効

抽選結果

- 工場見学会
→ 9月上旬にeメール(ハガキにてご応募の方には書面)にてご連絡いたします。
- カレンダー
→ 12月上旬の発送をもって発表にかえさせていただきます。

定時株主総会に関するご報告

2015年6月24日開催の当社第193回定時株主総会の決議の結果につきましては、インターネット上の当社HPに掲載しておりますので、そちらをご高覧ください。

当社HP URL <http://www.furukawa.co.jp/>

株主メモ

- 事業年度の末日: 毎年3月31日
- 定時株主総会: 毎年6月
- 公告方法: 電子公告 <http://www.furukawa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事
故その他のやむを得ない事由が生じたとき
は、日本経済新聞に掲載)

株主名簿管理人および特別口座 口座管理機関事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル平日9:00~17:00)

※住所変更等の事務お手続きは、お取引証券会社などにてお手続き
ください。

配当金のお支払いについて

第193期期末配当金は、1株につき3円と決定いたしました。配当金を「配当金領収証」によりお受取りいただく方には、「配当金計算書」および「期末配当金領収証」を同封しておりますので、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局において、払渡(お支払)期間中にお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

【払渡(お支払)期間]: 2015年6月25日から2015年7月31日

※次回から口座振込みをご希望の場合は、お取引証券会社にお問い合わせください。

※確定申告の際の添付資料には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。

お問い合わせ先

決算・企業情報に関するお問い合わせ

電話 03-3286-3050 (古河電気工業株式会社 IR・広報部)

株式事務に関するお問い合わせ※

電話 0120-288-324 (みずほ信託銀行株式会社 証券代行部)

※上記またはお取引証券会社などにお問い合わせください。

